

2023年度 妻ヶ丘幼稚園 3学期園内自己評価

こあらぐみ・ひよこグループ

—年間目標—

- ◎食事、排泄の習慣や衣服の脱ぎ着等、簡単な身の回りの事を自分でしようとする。
- ◎遊びや活動を通して、興味や関心及び友だちとの関わりを広げていく。

—3学期目標—

- ◎簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ◎環境を整え、様々な遊びを充実させる。
- ◎個々に合わせたトイレトレーニングを行い、次年度への自信に繋げていく。

—活動内容—

がんばるぞ～【椅子取りゲーム】

(健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い)

- ・最初から勝敗が決まるゲームに入るのではなく、椅子の引越しゲームから始める。(皆で楽しさを味わう)
- ・保育者も一緒に入り、何度か繰り返す行うことでルールを理解する。
- ・ゲームの楽しさに気づき、『またやりたい!』という言葉が多く、繰り返しを喜ぶ姿が見られた。
- ・勝敗にこだわり涙が出る子がいたが、次に向けて『がんばるぞ～!!』と張り切る子どももいた。
- ・他にも、しっぽ取りゲーム、フルーツバスケット、だるまさんが転んだ等、様々なゲームを楽しめるようになった。



今日は何をしようかな?【コーナー遊び】

(健康な心と体、自立心、共同性、道徳性・規範意識の芽生え、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)

- ・自分でしたい遊びを見つけ、あれがしたい!これが使いたい!と伝えてくる。
- ・事前に様々なコーナーを作っておくことで、興味のある遊びに向かっていた。(ブロック、ままごと、ボタン通し、ミニカー、洗濯ばさみ等…)
- ・自分達でもコーナーが作れるように持ち運び出来る仕切りを用意したところ、友達と一緒に部屋(空間)を作って楽しんでいた。
- ・工夫してブロックを組み立てたり、友達と見せ合いながらごっこ遊びに発展していた。
- ・遊びの中で次年度に向けてのボタンの練習にもなり、たくさん繋げて自信になっていた。



—3学期の反省—

- ・友達との関わりが増えてきたのでルールのある遊びを色々取り入れてみたところ、友達を応援したり、声を掛け合ったり、ゲームよりも皆ですその雰囲気を楽しんだりとそれぞれが活き活きと参加していた。
- ・室内に限らず、戸外でも友達を誘い合っていた遊びを楽しむ姿が見られるようになった。
- ・制作活動にちなんで苺の絵本を読んで楽しんだところ、その日の降園後、果物嫌いの Tくんが家で『〇〇食べたい』と言って自ら苺を食べたと聞いた。視覚で楽しむことも大切だと気付いた。
- ・人形遊びの家や布団を用意したところ、興味を示して楽しんでいた。(環境を整える大切さ)
- ・トイレトレーニングは徐々にパンツでの時間を長くすると同時に、パンツとズボンを脱がずにそのままトイレに行く練習も始めた。後半にはすっかり上手になり、男の子は立って排尿出来る子も増えた。また、自らずっとパンツで過ごしたいと言う子どもも数名いて頑張っている。

—年間の反省—

- ・排泄の習慣や衣服の脱ぎ着等、個人差はあるがそれぞれが自信がついてきて自らしようと頑張っている。
- ・食事に関してはなかなか進まない子が多かったので、席替えをしたりと環境を変えてみた。また時間を事前にここまでだよと伝えることで意識できるようにした。苦手な物を前もって減らす方法にしたところ、全く食べようとしない子どもが増えたので、時間終了前に減らすようにした。
- ・一人遊びから徐々に友達存在を意識するようになり、友達と遊ぶ楽しさに気づき、誘い合う姿が見られるようになった。
- ・視覚教材(絵本等)を通して、実際に遊びに取り入れたり、自然に目を向けたりと様々なことを吸収していたので、季節や年齢に応じた物を取り入れる大切さにも気付いた。